

# PRESS RELEASE

国連開発計画(UNDP)東京事務所

Tel: 03-5467-4751, Fax: 03-5467-4753

United Nations Development Programme



情報解禁日： 2009年10月5日 日本時間12:00

プレスリリース#2

人間開発指数：182の国々の進捗状況は一樣ではなく、保健、富や教育の不均衡は根強く存在する  
-平均余命の国際格差は最大30年に達すると『人間開発報告書2009』が発表

2009年10月5日、バンコク：『人間開発報告書2009：障壁を乗り越えて一人の移動と開発』の一部として、本日発表された最新の人間開発指数（HDI）によると、過去25年の間に世界の多くの地域で人間開発が前進する一方、豊かな国と貧しい国の人々の福祉には、依然として容認しがたい大きな格差があることが判明した。HDIは、人間の生活の豊かさを明らかにするために、平均余命、識字率就学率、1人当たりの国内総生産（GDP）に基づいて算出される指数である。本年のHDIは、過去最多の182の国と地域について算出された。

「人間開発は、長期にわたって顕著に改善されているにも関わらず、その進捗状況は不均衡です」と、『人間開発報告書2009』の執筆主幹であるジュニ・クルーグマンは述べた。国際比較が可能な最新のデータは2007年のものであるため、「景気の停滞、紛争に関連した危機、HIV/AIDSの蔓延により、ここ数十年の間に状況が悪化した国も多くあります。しかも、これらの数値には、2008年に起きた世界金融危機の影響はまだ反映されていないのです」と付け加えている。

『人間開発報告書』は、人類が直面する最も喫緊の課題を論じるために、UNDPが委託し、刊行している、独立した報告書である。2009年版「障壁を乗り越えて一人の移動と開発」は、10数カ国語に翻訳され、世界の多くの国々で発行されている。

## 最新の統計

HDI値の上位3カ国は、上からノルウェー、オーストラリア、アイスランドである。上位10カ国には、ルクセンブルグに代わってフランスが1年ぶりに名を連ねた。

前回の2006年の値に比べて、3位以上順位を上げた国は、中国、コロンビア、フランス、ペルー、ベネズエラの5カ国である。ほとんどの国は所得の向上と平均余命の伸びによる面が大きい。中国、コロンビア、ベネズエラの場合は教育状況の改善も寄与している。

2006年に比べて、順位を落とした国と順位を上げた国がそれぞれ約50カ国ある。サハラ砂漠以南のアフリカでは、ガーナが2位順位を上げ（教育水準の向上による）、チャドとモーリシャス、スワジランドがそれぞれ2位ずつ順位を落とした。順位を3位以上落とした国は、ベリーズ、エクアドル、ジャマイカ、レバノン、ルクセンブルク、マルタ、トンガの7カ国であった。

最下位の3カ国は、下から順にニジェール、HDIの算出は1996年以来初となるアフガニスタンおよびシエラレオネであった。ニジェールに生まれた子どもは平均して50歳あまりしか生きられず、この年数はノルウェーに比べて、30年も短い。1人当たりの所得の格差もきわめて大きく、米ドルに換算するとニジェールの人々の所得は、ノルウェーの85分の1にすぎない。

データの改訂と更新によりHDIの値は補正されているため、本年の値を過去の『人間開発報告書』に掲載された値と比較することは勧めない、と執筆主幹のクルーグマンは述べている。本年の『人間開発報告書』には、1980年以降のデータの改訂値と更新数値が掲載されているので、それを参照することが望ましい。

## 大きな格差

本年の『人間開発報告書』では、HDIの上位の国について「HDI最高位国」という新しい区分が新たに導入された。最新のHDIの値を見ると、人間開発が進んでいる国に暮らす人ほど、教育水準が高く、平均余命が長く、所得が高い傾向にある。1人当たりのGDPは、低位国では1,000米ドルに満たないのに対し、最高位国では3万7,000米ドルを上回っていた。

平均余命と教育水準の格差もきわめて大きい。HDI低位の国に生まれた子どもは平均して50年あまりしか生きられない。この年数は、中位国に比べて17年、最高位国に比べて30年短い。HDI低位の国では成人の2人に1人、中位国では5人に1人が非識字者だが、高位国・最高位国には非識字者はほとんどいない。

## HDIの長期的な変換

1980年以降のHDI値の変遷を見ると、人間開発は目覚しく前進したことが確認できる。HDI値は、世界平均で15%上昇している。最も値が上昇したのは、中国、イラン、ネパールであり、所得以上に、教育・保健水準の向上が際立っている。

「保健と教育に関連した多くの指標で格差が縮小しているのは好ましいことですが、所得の不均衡が一向に解消されないことは、政策立案者や国際機関にとって大きな懸念材料であり続けています」と、クルーグマンは言う。クルーグマンによれば、『人間開発報告書』の創刊20周年にあたる2010年の報告書作成の準備として、現在こうした傾向について掘り下げた分析が進められている。

## 人間開発指数以外の豊富な統計

『人間開発報告書』にはHDI以外にも、人口動態の変遷、経済と格差、教育と保健など、人間開発に関するさまざまな統計が掲載されている。国際的・国内的な人の移動に関する重要な側面について知ることができる詳細な国際比較データも多数盛り込まれている。

「ここに掲載した統計は、変化を続ける今日の世界のなかで、移住が果たしている役割について知識を深めたいと考えているジャーナリスト、学生、政策立案者や研究者にとって基礎資料となるでしょう」と、クルーグマンは述べている。

-----

◎ 人間開発報告書について

『人間開発報告書』は、国連開発計画(UNDP)の委託によって作成された、人類にとって最も重要な問題に対し、議論の枠組みを提示し続ける独自の見解を持つ報告書です。『人間開発報告 2009』の執筆主幹はジェニ・クルーグマンです。『人間開発報告書』は毎年、10 数カ国語に翻訳され、100 カ国以上の国々で発行されています。『人間開発報告 2009』英語版はPalgrave Macmillan 社より発行されています。『人間開発報告 2009』の日本語版は2010 年春に発売予定です。

◎人間開発について

人間開発は、「人間が自らの意思に基づいて自分の人生の選択と機会の幅およびその自由を拡大させること」を目的としています。人間開発は、ノーベル経済学賞受賞者であるアマルティア・センの革新的な発案とマズール・ハック(故人)のリーダーシップのもとに生まれました。人の生存や行動にとって不可欠な自由の実現に重点を置いた能力アプローチは、1990 年の『人間開発報告書』創刊時からUNDP の取り組みの中核に位置しており、貧困と欠乏を根絶するための効果的な政策策定と今までになく深く関連しています。これらの取り組みはジェンダー、人間の安全保障や気候変動などの多様な思想の再形成において、大きな力を持つことを証明されています。

◎ 国連開発計画(UNDP)について

国連開発計画(UNDP)は、国連のグローバルな開発ネットワークとして、変化に向けた啓発を行い、各国の知識や経験と資源を結びつけ、人々がよりよい生活を築けるよう支援を行っています。我々は、166 カ国で事業を展開し、それぞれが国内外の開発課題にあった解決策を見いだせるよう支援しています。各国内の能力構築のためにUNDP と我々の幅広いパートナーたちは信頼を得ています。詳しくは、[www.undp.org](http://www.undp.org) をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ：

UNDP ニューヨーク事務所 Calorina Azevedo Tel : +212-906-6127 carolina.azevedo@undp.org	UNDP バンコク地域支援センター Cherie Hart Tel: +662-288-2133 cherie.hart@undp.org	UNDP 東京事務所 広報・市民社会担当官 西郡俊哉 Tel : 03-5467-4751 toshiya.nishigori@undp.org
--	--	---

人間開発報告書 2009 ウェブサイト

日本語 : <http://www.undp.or.jp/hdr/global/2009/index.shtml>

英語 : <http://hdr.undp.org/en/reports/global/hdr2009>